

官学民協働による、効果的・発展的な「森のようちえん」等を活かした地方創生 ～2月14日(日)「いいね！地方の暮らしフェア」をキックオフに、協働取組をスタート～

若い世代を応援する12県が地方の魅力を発信！

いいね！ 地方の暮らし

「地方で働く」「地方で暮らす」地方の魅力を
見て、知ろう!!

ステージイベント
12県の知事が地方の魅力を紹介!!

- 各県知事によるリレープレゼン
- 「地方で暮らそう！」トークショー
- 「自然豊かな“地方の子育て”」トークショー
- 「結婚・婚活応援シンポジウム」

相談コーナー
12県それぞれのブースで移住や就職の相談をしよう!

- 各県移住相談コーナー
- 各県就職・就業相談コーナー / 世界で活躍する地方中小企業転職フェア Supported by DODA

森と木の子育てひろば
木のおもちゃで遊ぼう!

ニコニコ生放送
「いいね！地方の暮らし」会場特設スタジオから生放送!

各県の特産品販売も!

主催：「日本創生のための将来世代応援知事同盟」
構成県：宮城県、福島県、長野県、三重県、滋賀県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、高知県、宮崎県

●「いいね！地方の暮らしフェア」Webサイト
<http://www.iine-localife.com/>

●お問い合わせ先
長野県企画振興部地域振興課 (TEL)026-235-7024

プログラムの内容は変更になる場合がございます。

時間 10:00～17:00
会場 池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB、5F特別ホール **入場無料**

- 1.日時 平成28年2月14日(日) 10:00～17:00
- 2.会場 サンシャインシティ・文化会館「展示ホールB」(4階)
- 3.主催 日本創生のための将来世代応援知事同盟 [以下、「知事同盟」と記載]
(宮城県、福島県、長野県、三重県、滋賀県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、高知県、宮崎県)

4.内容 以下の取組の実施(一部、調整中)

《官学民協働キックオフ記念》

(1)「自然豊かな地方の子育て」トークショー

～子どもも大人も地域も元気に！「森のようちえん」のススメ～

[主催] (公社)国土緑化推進機構、知事同盟、日本自然保育学会、森のようちえん全国ネットワーク

[日時] 平成28年2月14日(日) 10:30～11:30

[場所] 「いいね！地方の暮らしフェア」特設ステージ(約300名定員)

[内容] 以下の内容で調整中。

○挨拶

前田 直登 ((公社)国土緑化推進機構 副理事長、
(一社)日本林業協会 会長、元林野庁長官)

阿部 守一 (長野県知事、知事同盟 幹事県)

内田 幸一 (森のようちえん全国ネットワーク 運営委員長)

上原 貴夫 (日本自然保育学会 会長、長野県短期大学 教授)

○トークショー

阿部 守一 (長野県知事、知事同盟 幹事県)

平井 伸治 (鳥取県知事、知事同盟)

西村早栄子(「そうだ、地方で暮らそう！」国民会議 委員、
「智頭町森のようちえん まるたんぼう」代表)

本城慎之介(元楽天(株) 副社長、軽井沢「森のようちえん ひっぴ」保育士)

山口 美和 (東京大学 発達保育実践政策学センター、日本自然保育学会
事務局長、長野県短期大学 准教授)

内田 幸一 (森のようちえん全国ネットワーク 運営委員長)

(2) 移住者による「森のようちえん・自然保育」等のプレゼンテーション

(3) 「森のようちえん・自然保育」ブース展示(仮称)

(4) 地方とツナガル「森と木の子育てひろば」

(5) レポート映像の制作・配信

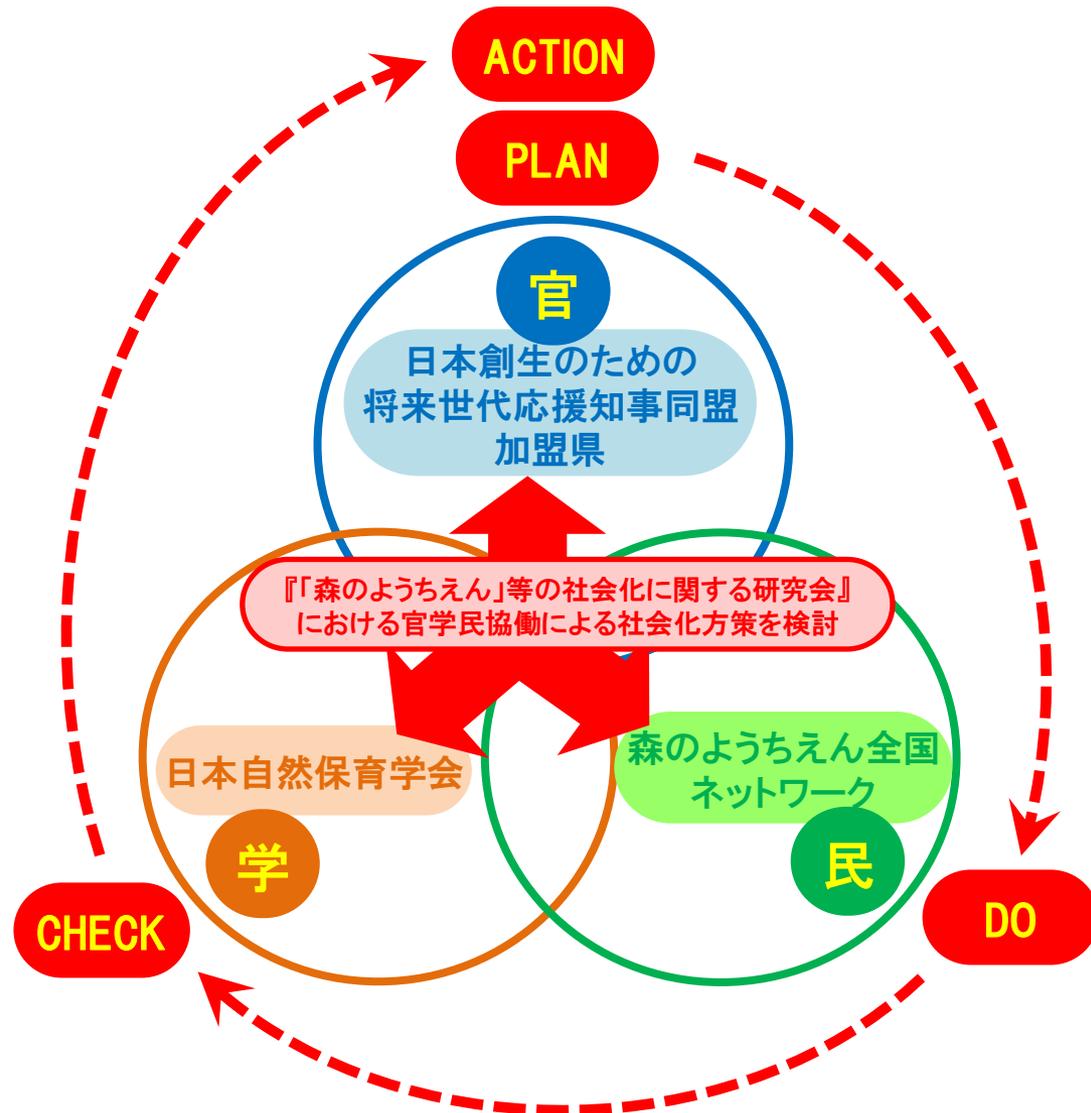
「フォレスト・サポーターズ」
のガチャピンもやってくる!



『「森のようちえん」等の社会化に関する研究会』の設置による協働取組 ～官学民協働により、着実かつ効果的なPDCAサイクルの循環による 地方の森林・自然等を活かした幼児教育・保育・子育ての促進(イメージ)～

協働の背景とねらい

- 近年、地方の豊かな森林・自然等を活かした幼児教育・保育・子育て(「森のようちえん」等)への関心が高まっている。
- 欧米では、グローバル社会を生き抜ける「自ら考え、行動する」人材育成(教育改革)や、持続可能な開発のための教育(ESD)の一環としても取組が注目
- 国内では、若年女性(20～30歳代)をターゲットにした移住促進(社会増)のアピール策として、また地方の豊かな自然を活かした子育て環境により、多子意欲の向上(自然増)等を図ることで、地方創生・少子化対策関連施策として注目
- なお、地方創生関連施策は、KPI(客観的指標)を決め、PDCAサイクルを回していくことが要請されているとともに、「官民協働」や「政策間連携」による多様な波及効果を発揮することが求められている。
- そこで、「森のようちえん」等に直接関わる「子ども」への“教育的効果”とともに、「家庭」や「地域」、「森林・自然」の活力の再生等の“社会的効果”も最大化していくために、『「森のようちえん」等の社会化に関する研究会』を設置(国土緑化推進機構)、関係する産官学の代表者が参画し、協働取組を開始する。



『「森のようちえん」等の社会化に関する研究会』における 具体的な官学民の協働取組 イメージ

協働取組の内容

➤ 「知事同盟」「学会」「全国ネット」の代表等が参画した研究会を設置し、各セクターの強みを活かして以下の取組を実施

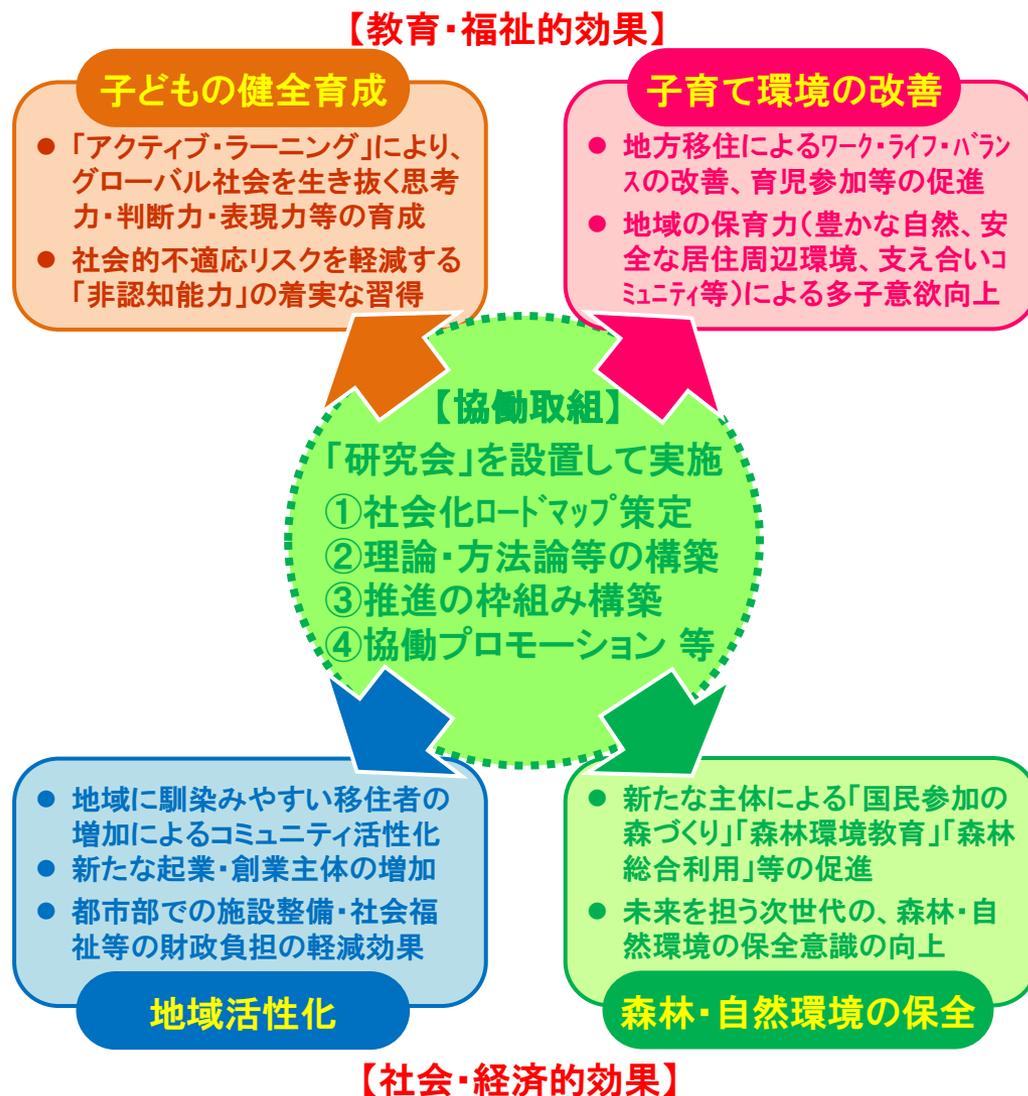
① 社会化に向けたロードマップの策定
(「森のようちえん」等の活かした地方創生の社会化に向けたタスク等を整理)

② 理論・方法論等の検討
(右記の「教育・福祉的效果」「社会・経済的效果」に係る先行研究等の整理と、各効果の最大化に向けた理論・方法論を検討)

③ 推進の枠組み検討
(「森のようちえん」等の運営者・指導者等の協働での育成や、地方への移住促進に向けた協働の枠組みを検討)

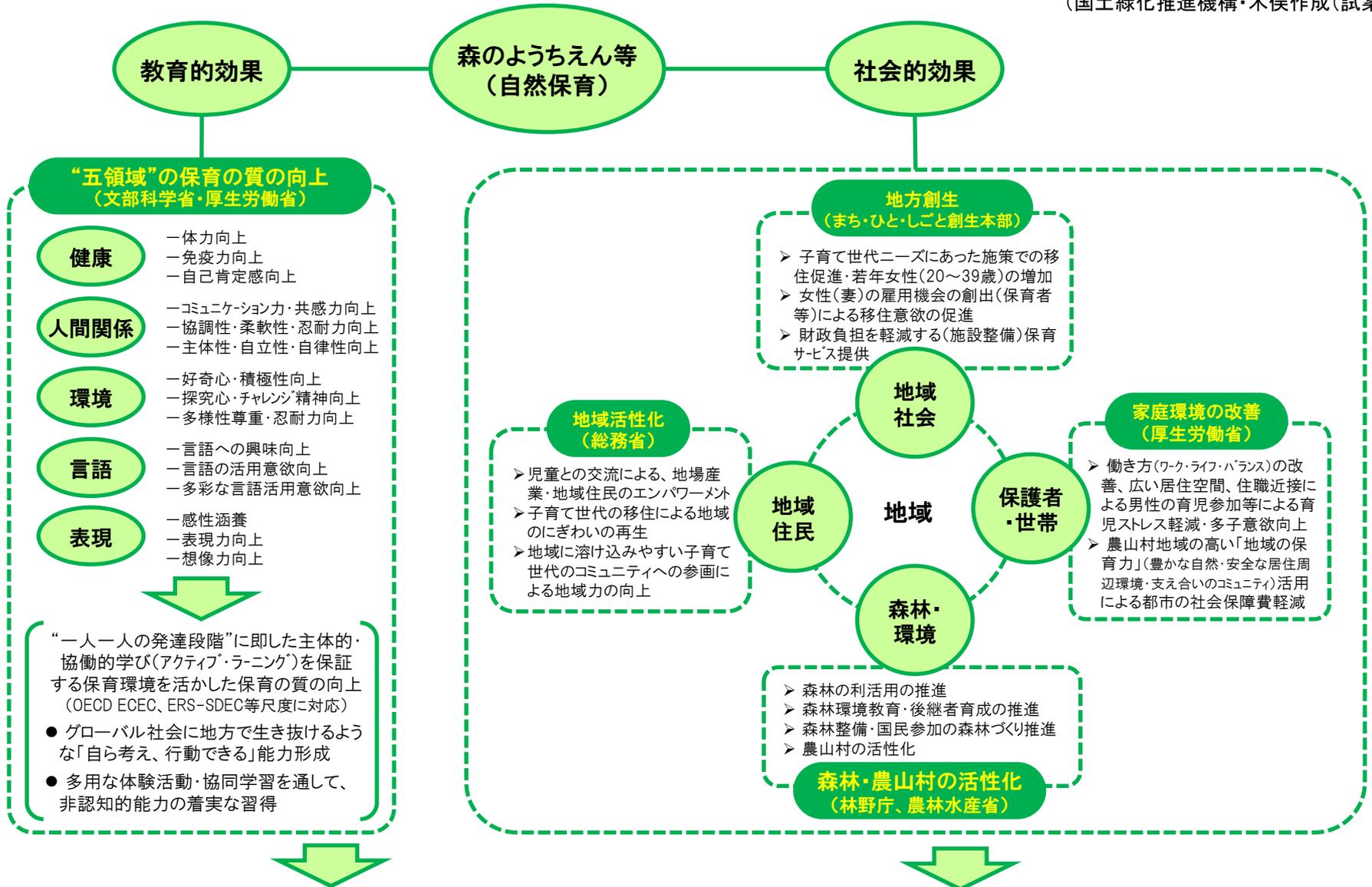
④ 協働プロモーション等
(各セクターの強みを活かして、多様なイベント・媒体・施設等での協働でのプロモーションやパブリシティを促進)

➤ 上記の取組を通して、「森のようちえん」等を通じた「子どもの健全育成」、「子育て環境の改善」、「地域活性化」、「森林・自然環境の保全」を促進



森林・自然等を活かした幼児教育・保育・子育て支援(「森のようちえん」等)の教育的効果・社会的効果のイメージ(試案)

(国土緑化推進機構・木俣作成(試案))



「子ども」「家庭」「地域」「森林・自然環境」等の豊かさを生み出して、多角的に地方創生を推進
(自律的環境である森林・自然等(Miklitz)を、保育の質の向上のための重要な保育資源として活用する取組を促進)

都市の“ネガティブ”なイメージが強い“子育て像”から、 地方の“ポジティブ”なイメージが強い“子育て像”の発信へ(イメージ・試案) ～社会的・家計的コストと育児ストレスが少なく、保育の質の高さも期待できる地方での子育てのPR～

(国土緑化推進機構・木俣作成(試案))

分野	要素	【地方の保育・子育て支援力】	【都市の保育・子育て支援力】
【Ⅰ】保育環境	①保育の量	遊休施設大(有効活用可能) → 施設整備の追加コスト少 & 低コスト (安い土地代、平屋建て)	施設不足(待機児童問題) → 施設整備の要追加コスト & 高コスト (高い土地代、複数階建て)
	②保育の質(空間)	広い保育室・園庭・周辺環境 (自由保育・体験活動多) → アクティブ・ラーニング(自主協働型学び)に最適	限られた保育室・園庭・保育資源 (集団保育中心・体験少) → アクティブ・ラーニング(自主協働型学び)に課題
	③保育の質(男性保育士の参画)	低賃金だが生活コストが低いので負担が少 → 男性も比較的に従事しやすい	低賃金だが生活コストが高いので負担が多 → 男性は比較的に従事しにくい
【Ⅱ】家庭環境	①居住空間	広い家、離れた隣家(一戸建て等) (子どもの監視・指導が緩やか) → 育児ストレスが少ない	狭い家、近所上下隣接(マンション等) (子どもの監視・指導が常に必要) → 育児ストレスが多い
	②ワーク&ライフバランス・男性育児参加	住職近接で育児参加が容易 → 妻子への負担が軽減	長時間通勤で男性育児参加困難 → 妻子への負担が多い
	③育児方法	豊かな自然環境・地域社会依存型 & 地域内完結で移動少・容易な車移動 → コスト・同伴移動等の負担少	教育産業のサービス・施設等への依存型 & 公共交通機関でストレスが高い移動型 → コスト・同伴移動等の負担大
【Ⅲ】地域環境	①居宅周辺環境	広い道路・見通し良く交通量少 ・顔の見える安心なコミュニティ → 子どもが遊び場として利用可	車社会・見通しが悪い危険な道路 ・顔の见えないコミュニティ(不審者等) → 子どもは利用困難・監視要
	②遊び空間	里山・小川等の多彩な地域の遊び場 (四季・動植物・地形の変化等多い) → 社会的・家計的コストは極僅か	施設数少・遠隔地 (何もなく平らな公園。高コストな遊戯施設) → 社会的・家庭的コストは膨大
	③子育て支援策	地域相互扶助型(地域集落等) → 低コスト(集落・地域住民)の子育て支援	行政依存型(子育て支援センター等) → 高コスト(施設・人件費)の子育て支援